

# 簡単！スタンドパイプの使い方

## スタンドパイプとは？

初期消火で最初に思いつくのは消火器です。

しかし、消火器は初期火災に対しては非常に有効なものですが、拡大してしまった火災に対応することは困難です。



スタンドパイプは、消火栓にスタンドパイプを差し込み、ホース・管槍を結合することで、毎分100リットル以上の放水ができる消火用機材です。

消火用機材としては軽量で操作も簡単、また消防車両が進入できない道路狭隘地域や木造住宅密集地域では、火元直近の消防水利を活用した有効な消火活動ができます。

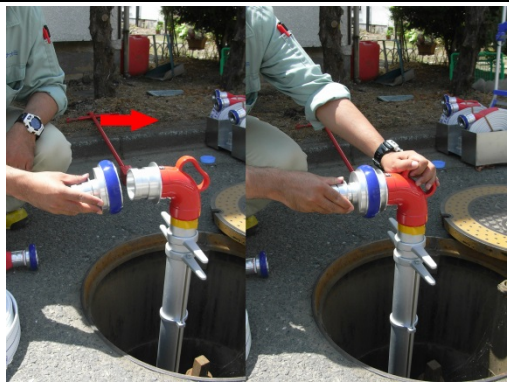

スタンドパイプ本体のほか、消火栓鍵、スピンドルドライバー、媒介金具、ホース、管槍、ノズルで構成されています。



角型消火栓の場合	
1	消火栓鍵を差し込みます。 蓋を開放する際は、周囲の安全を確認し腰を痛めないよう注意します。
2	完全に蓋を開放します。 蓋が手前に倒れて足を挟み込まないように注意します。例えば、あらかじめ放水弁にスピンドルドライバーを差し込めば、蓋が倒れてきても安全です。


丸型消火栓の場合	
1	 <p>消火栓鍵を差し込みます。 てこの原理で蓋を浮かせながら、ずらします。周囲の安全を確認し、腰を痛めないよう注意します。</p>
2	 <p>丸蓋を開ける時は、一度手前に引き上げてから、180度回して開放します。</p>
3	 <p>蓋がくっついている場合がありますので、一度このように蓋を持ち上げると、ずらしやすくなります。</p>

4		<p>左が放水口でスタンドパイプの取付け部分です。 右が吐水弁でスピンドルドライバーの差込部分です。</p>
<p>スタンドパイプを消火栓に設定する</p>		
5		<p>スタンドパイプを吐水口に結合します。 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。</p>
6		<p>スタンドパイプを吐水口に結合したら、一度上方へ引っ張り確実に結合されているか確認します。 結合が不十分だと放水中に外れる可能性があり、大変危険です。</p>
7		<p>保管状態では、管鎗と媒介金具が接続されているので、着脱リングを引き上げて管鎗と媒介金具を外す。</p>

8		<p>スタンドパイプに、媒介金具を結合します。 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。</p>
9		<p>先ほど接続した媒介金具にホースを結合します。 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。</p>
10		<p>ホースと管鎗を結合します。 「カチッ」と音がするまで差し込んでください。</p>
11		<p>ホースが折れ曲がっていると十分な圧力で放水できませんので、できるだけホースを真直ぐにしてください。</p>


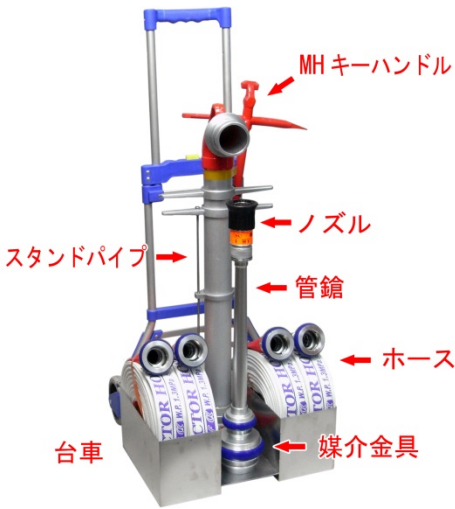
12		<p>火元までホースを伸ばし、放水準備ができたなら合図をします。</p> <p>合図は、声や動作で確実に伝えます。相手が見えない場合は、誰かに伝えてもらいます。</p>
13		<p>吸水操作をしている人は、合図を確認したら吐水弁にスピンドルドライバーを差し込みます。</p> <p>(夜間は、懐中電灯などがあると便利です)</p>
14		<p>スピンドルドライバーを反時計回り（左周り）に回して水を出します。スタンドパイプから水が出るのを確認したら、スピンドルドライバーを時計回り（右回り）に回して水を止めます。</p> <p>なお、弁を開く時は周囲の安全をよく確認しましょう。急激な操作は大変危険です。</p> <p>※ほとんどの消火栓は3回転以上で全開となります。また、区画量水器と呼ばれる大きな蓋の消火栓は、1/4回転で全開となるので、スピンドルドライバーを少しずつ回します。</p>

ホース結合・延長・放水

15		<p>ホースとホースを結合してください。  <b>※結合部分は差込式です。</b>  <b>「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込みます。</b>                  結合後は、一度引っ張って確実に結合できていることを確認します。</p>
16		<p>管そう（ノズル）は目標に向け、腰の位置でしっかりと保持しましょう。                  前傾姿勢をとると水の反動力が抑えられ、姿勢が安定します。</p>

放水停止

17		<p>合図は、声や動作で確実に伝えます。相手が見えない場合は、誰かに伝えてもらいます。</p>
18		<p><b>時計回り（右回り）に、確実に閉めましょう。</b>                  吸水操作実施者は、消火栓から離れてはいけません。                  常にトラブルに対応できる態勢を整えましょう。                  他の人が消火栓の穴の中に落ちないようにロードコーンを置くなどして注意を促します。</p>

最後に	
19	
20	

ホースは乾かさないとカビが発生しますので、十分に乾かしてからしまってください。

※ベランダからホースを垂らして乾燥できます。

片づけ方は、スタンドパイプを台車に、ノズル+管鎗+媒介金具の順に結合した物を台車に、ホースは丸めて2本ずつ台車に、MH キーハンドルを台車に収めてください。

MH キーハンドルは付属のマジックテープで固定して下さい。

※ホース格納部分は収納箱に合わせて作っていますのできつくできています。ホースをしっかり巻いて収納して下さい。

# 株式会社 ミナカミ

〒193-0834  
 東京都八王子市東浅川町 28-30  
 TEL:042-663-2551 FAX:042-663-2550  
<http://www.minakami.co.jp/>

防炎用品の **命一番堂** 安全と安心を提供します。 **YAHOO! JAPAN SHOPPING**

<http://store.yahoo.co.jp/minakami119/>